



## 医療機関だけじゃない！ コロナ@介護の現場

**ポストコロナはまだ早い！ 一人ひとりがコロナ感染症を**拡げない**努力を続けてください！**

新型コロナウイルス感染症に対する治療法の確立や有効なワクチンが未開発の中、介護施設では、外部との接触を少なくするために**家族との面会を制限**する状況が続いています。職員は**家族ぐるみ**で健康管理、出勤前の検温と平熱を超えた場合の**休業**、施設は**代替職員**の手配、**シフト**の再構成など様々な**負荷**が続いています。家族との面会がままならないなか、相対的に**ADL(日常動作)の悪化や認知症の進行が懸念**され、高齢者にとっても**ストレス**となっているそうです(スマイル☆ケアケア調べ)。スマイル☆ケアケアでは、**ダブルケア**で大切なことは、『**頼れる支援やシステムを知る**こと』、『**遠慮なく利用**すること』と勉強会や情報交換会などでお伝えしてきました。しかし、新型コロナウイルス感染症では、頼りにしている介護施設等が今までに経験したことのない**緊張感**にさらされています。しかも、この緊張感の続く期間は**予測ができない**ことに、ケア現場で働く人の**疲労**の蓄積も**ピーク**に達しています。

私たちスマイル☆ケアケアは、だれもが「**当事者**」として「**今**」できること、「**ケア従事者へのねぎらいの気持ちや声かけ、感染症拡大の防止に資する行動**」を確実にしていくことが必要であると、**声を大にして訴えます！！**



通話中

## LINE (ビデオ通話) で面会ができるようになりました！！

ケアケアメンバーのむつみです。私の自宅から歩いて10分のところにある**グループホーム**に母が入所しています。3か月前、新型コロナウイルス感染症防止のため、「**面会禁止**」のお知らせが来た時には、何とも言えない**悲しみ**とも**不安**とも言えない気持ちになりました。

しかし、先日、「**外出できなくてストレスが溜まっているのは入居者の方々なんです！**」と、職員さんから教えていただきました。そんな矢先の初の「**オンライン面会**」！初めての画面越しでの会話に「**これ、映るとおね？**」と隣にいる職員さんに嬉しそうに尋ねている母。いつも「**変わりはないね？**」と私たち**家族**のことを**真っ先**に心配する母。施設の職員さんたちに**守って**いただいていることに、**心から感謝**しています。

<ケアケア☆豆知識>

グループホームとは、認知症の高齢者が専門スタッフの援助を受けながら共同生活を送る小規模の介護施設のことです。

## ヤングケアラーケース紹介 その2



### “10代のケア”体験者に 当身を振り返っていただきました

ケアラー：ゆかさん (53歳・社会人)  
ケア当時**9歳**・小学生～20歳  
ケア対象 両親(30代) 妹(6歳3歳)

ダブルケアは「**育児と介護の両立**」と認識されることが多いのですが**複合的なケア**には様々なケースがあります。

今月号では、複雑な事情を抱えた**ヤングケアラー**としての当時の経験をゆかさんにお話をいただきました。

ゆかさん(当時9歳)は、母方の祖母が病死。独居となる祖父を**一人にできない**と申し出た父と共に、一家で祖父宅に身を寄せますが、わずか3日後に祖父の全財産を持った父が行方不明になったと聞かされます。母と祖父は喧嘩が絶えず、やむを得ず別居。**仕事に行く母に代わり**、保育園に通う**幼い妹の送迎やお世話全般**を任されるようになります。父不在の自宅には金融業者が詰めかけ、**経済的・精神的**に常に**厳しい**状況だったそうです。その後、父の所在が分かり、再度同居することになるも、頻繁に行方不明になる父に悩み**躁鬱**を抱える母の**相談相手**として、**小中学生時代**を過ごしたそうです。(その後父は詐欺罪で逮捕、収監。母とは離婚)離婚するも、出所後に再び父と同居する母・職に就けない父と三姉妹は対立関係になり、ゆかさんが20歳の時に今度は上の妹(17歳)が家出。その時、取り残される逆の立場となった父は、ようやく自分の罪を理解したように見えたそうです。(上の妹さんとは四年後に再会)貧しさからゆかさん自身が**いじめ**に遭ったり、妹に**心無い言葉**をぶつけられた話を耳にすることが、とても**辛かった**、とのことでしたが、**妹さんたちの存在**が自身を**奮い立たせ**、**道を外れてはいけない**という気持ちにさせてくれたそうです。下の妹さんを大学に行かせたいと考えた23歳の時、**ダブルワーク**を始めるも、持病のぜんそくの発作により身動きがとれなくなり、毛嫌いしていた父に抱えられ救急搬送。そのことをきっかけに父と和解し、**初めて頼る**ことができるようになったそうです。

インタビューの最後に「**特殊な事情の家族の話は、外部に気軽に話すことができず、抱え込んでしまう。身内だからこそばい、家族の中で解決**しようと苦しむ。環境を変えたいと常に思っていたけれど、**辛いね**という**共感**がほしいのではなく、**解決の糸口**を探る**サポート**があればヤングケアラーたちの**勇気**や**元気**に繋がるのでは」とお話しくださいました。「**抱え込まない！**」は**ケアラーの共通言語**であると**確信**したゆかさんのインタビューでした。

### 編集後記

皆さま、今月のケアケア通信はいかがでしたでしょうか？新型コロナウイルス感染症の収束がみえないなか、各地で大きな豪雨被害も出ており、**ダブルケア**にかかわる**皆さん**が**大きな影響**を受けています。ウィルスから大切な人を守る**責任と負担**が、学校の休校や保育園の閉園により増え、老人施設や病院などでは面会の禁止が続き、大切な人の**心のケア**に心配を募らせています。ヤングケアラーもまた、**孤独な闘い**をしているのではないのでしょうか。学校に行けない分、**頼りになる身近な大人**との**接触機会**も制限されてしまっています。この混乱の日々の一日も早い収束を願ってやみません。

次号は**8月11日**発行です。お見逃しなく〜〜(〇〇)/【連絡先】スマイル☆ケアケア事務局 E-mail: smilecarecare@gmail.com